SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社 山内本店

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		企業理念を明文化し、経営者は、会社のあるべき姿を従業員に説明・毎日の復唱を行い共有している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令遵守項目を含んだ社内規定があり、新入社員教育や全社員勉強会等で定期的にコンプライアンス研修を行い、従業員への啓発を行っている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		役員、仕入れ担当者、各部署担当者が不正競争行為防止の外部セミナー等で勉強し意識を高めるとともに、仕入れ先等に対し、不当な値引き圧力が無いかチェックも行っている。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		各担当者を任命し、役員、各部署代表者に情報共有を行っている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産に関する研修や勉強会を実施している。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		担当者を任命し個人情報取り扱いマニュアルを作成し、適切に管理している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		SNSの活用やアンケート、電話などの直接的な対話でコミュニケーションを取り、社内の職場の掲示板等で共有している。また、お取引先様や行政機関等とも社内だけでなく、社外活動等も通じて連携した取組を行っている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	サプライヤー等と人権侵害、コンプライアンスの取り組み等の情報共有を行い、共に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	技術者・後継者の指導・育成に取り組んでいる。また、マネジメント・リーダー研修を定期的に実施している。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		公正採用選考人権・同和問題啓発推進員の外部セミナー受講や従業員への指導・情報共有を行っている。また、差別や各種ハラスメント禁止について、就業規則に定め、掲示し相談窓口も設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		定期的な安全衛生講習会を実施。安全衛生委員会等で危険予知訓練やメンタルヘルスを議題に揚げ、労働環境改善を共通認識として取り組んでいる。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		従業員の公正な待遇を行っており、「同一労働同一賃金ガイドライン」を理解し整備・運営を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		安全衛生委員会にて、残業時間の管理報告、有給の取得状況を確認し各従業員への指導・推奨を行っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		定期的な教育訓練・能力開発の外部セミナーの案内や、資格取得支援制度、資格手当支給、試験日案内を実施、推奨している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		通常の健康診断より詳しく検査できる項目の追加案内の他、従業員及び家族と一緒にスポーツ大会への参加等を行っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別等の違いによる差別的待遇はない。また、障がい者・高齢者が働きやすい環境を整えるため、トイレの改装や段差補助、安全バーの設置等も行っている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	テレワーク、ウェブ会議・商談、短時間の会議と窓開けの実施を行い、またパーテーションの設置、ドアノブの定期消毒、従業員の出入り口の区分け従業員・来客者の体温・体調管理を実施している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	クラウド型のグループウェアの導入をおこない、提案書や商品一括表示管理の電子化や従業員同士のモバイルメッセンジャーを導入している。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	令和4年度のブライト企業に申請【予定】。			3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社 山内本店

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物の担当者を決め、適切な管理及び処理に取組み、担当者からの情報共有や指導を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		ピークデマンド対策を行っている。またデジタルタコグラフを用いて営業車のエンジン過回転の管理、指導を実施している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		工場全体のCO2排出量をリアルタイムで色別化し従業員全員が把握できるようにし、担当者指導のもと、即対応できるように抑制管理している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		事業及び、従業員とその家族含め、廃プラやレジ袋等の使用削減に努めている。また2022から自社レジ袋をバイオマスレジ袋への変更【予定】（2022年11月）						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		ペーパーレス化、裏紙の利用を実施している。本体の購入を制限し、極力詰め替えの利用を促進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		地下水涵養事業に取り組んでいる。地下水保全顕彰制度シルバー取得済み。くまもと水の国賞受賞、肥後の水とみどりの愛護賞受賞等		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		熊本初の全社員のくまもとグリーン農業応援宣言行った。地下水と土を育む農畜産物等認定証取得。地下水米等を原料とした商品開発を行っている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	規格外商品のフードバンクへの提供。また飼料として再利用を行っていただいている。安全な商品に関してはアウトレットとしての販売を実施している。（印字ずれ等）	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	SII補助金を利用した高効率ボイラーの導入【予定】（採択済。2021年12月予定）A重油からローサルA重油に変更しC02の排出低減も実施している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	地下水保全の森林整備、水源かん養林の取組を行っている。くまもと地下水財団の賛助会会員。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	2022から自社レジ袋をバイオマスレジ袋への変更【予定】（2022年11月）												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社 山内本店

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		HACCP認証を受けており、製品安全性確保、マニュアル管理・作成、総合衛生管理を適切に行っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		従業員のみならず、一般のお客様にも対応した入口のスロープを配備した。また、ユニバーサルデザインのドアノブや洋式トイレ等も設置を行った。今後も改装・改築があればユニバーサルデザインを考慮した整備を行っていく。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	営業部署に地産地消グループを設立した。自社地域や県産原料にこだわった安全・安心な商品を開発し販売を行っている。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	先端設備導入計画認定。新技術の活用により、作業の効率化、生産性の向上に努めている。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地域事業者として、地域の防災活動や自治会活動に取り組んでいる。また自治会などを通して全従業員への献血推進、災害被災地に対しての募金や自社商品の提供も積極的に行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		定期的に避難訓練を行っている。緊急連絡網での情報共有や災害保険への加入、防災グッズの常備も行っている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	会社の施設内にAEDの設置を行った。全国AEDマップにも登録し近隣住人誰でも使用可能になっている。従業員へのAED講習会も実施している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	従業員に対し、SDGsの普及啓発、研修を実施し浸透している。また、営業にはSDGsバッジを配布しSDGsの社内取組を説明できるように共有している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	小・中・高・大学生・PTAや教育委員会・他社企業等の職場体験、製造見学、手作り味噌教室の実施。また、学生のインターンシップ受け入れ、出前授業等も行っている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	地元の農水産物、自社商品を通した食育に取り組んでいる。		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。